

豚 肉 情 勢

2月14日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考					
供給	1.国産	○ 12月の全国豚と畜頭数は、1,464千頭と前年並みとなった。(前年比100.2%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比):北海道107.3%、東北95.4%、関東99.0%、北陸甲信越99.2%、東海102.6%、近畿103.2%、中四国102.7%、九州・沖縄100.9% ○ 1月の全国と畜頭数は、1,414千頭(速報値1月31日まで集計、前年比100.0%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同数で、1日当たりの平均と畜頭数は74,416頭(前年実績:74,430頭/日、前年差▲14頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課:1月20日付け)によると、2月:1,344千頭(前年比98%)、3月:1,457千頭(同106%)、4月:1,403千頭(同100%)、5月:1,342千頭(同99%)、6月:1,307千頭(同110%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約102%と前年を上回る見込み。	国内生産量の推移 (千頭:%)		農水省出荷予測 (千頭:%)			
	2.輸入	○ 12月の輸入通関実績は、豚肉全体で76.6千ﾄﾝ(前年比113.0%、前月比97.8%)と前年を上回った。 内訳は、チルドが34.6千ﾄﾝ(前年比112.0%、前月比113.5%)、フローズンは42.0千ﾄﾝ(同113.9%、同87.8%)となった。 国別でみると、チルドではカナダ、メキシコが増加した。フローズンではスペイン、米国、チリが増加した。 (参考)形態別相手国別輸入数量 チルド ;カナダ18.9千ﾄﾝ(前年比136.6%)、米国11.8千ﾄﾝ(同87.1%)、メキシコ3.8千ﾄﾝ(同111.7%) フローズン ;スペイン12.4千ﾄﾝ(同106.9%)、米国4.9千ﾄﾝ(同122.5%)、メキシコ4.2千ﾄﾝ(同69.8%)、チリ3.2千ﾄﾝ(同104.8%)、デンマーク3.2千ﾄﾝ(同99.2%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(1月29日公表)によると、1月の輸入量:79.7千ﾄﾝ(前年比110.7%)、2月の輸入量:78.2千ﾄﾝ(同121.2%)と、ともに上回ると見込まれる。 チルドは、為替や現地相場高の影響により低調に推移する中、1月は米国産輸入量の減少が見込まれること等から、2月はカナダ産輸入量の減少が見込まれる事から、下回ると予測する。フローズンは、価格優位性によりブラジル産輸入量が増加が見込まれること等から、1月、2月ともに前年同月を上回ると予測する。 3か月平均では、チルドは前年同期並み、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和7年 1月:合計79.7千ﾄﾝ(前年比110.7%)、チルド31.2千ﾄﾝ(同90.1%)、フローズン48.5千ﾄﾝ(同129.8%) 令和7年 2月:合計78.2千ﾄﾝ(前年比121.2%)、チルド31.6千ﾄﾝ(同97.7%)、フローズン46.6千ﾄﾝ(同144.8%) 直近3か月(12月～2月)平均:合計78.9千ﾄﾝ(前年比116.0%)、チルド32.5千ﾄﾝ(同99.7%)、フローズン46.4千ﾄﾝ(同131.0%)	暦年	国内と畜頭数		暦年	出荷予測	
			千頭	前年比		頭数	前年比	
			R2年	16,686	102.2	R7年 2月	1,344	98
			R3年	16,836	100.9	R7年 3月	1,457	106
			R4年	16,577	98.5	R7年 4月	1,403	100
			R5年	16,407	99.0	R7年 5月	1,342	99
			R6年 9月	1,278	98.8	R7年 6月	1,307	110
			R6年 10月	1,458	101.5			
			R6年 11月	1,410	95.1			
		R6年 12月	1,464	100.2				
需要	1.家計消費	○ 総務省発表の12月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,993g(前年比98.6%)、支出金額が3,148円(同102.9%)となり、購入量は前年同月を下回ったが、支出金額は前年同月を上回った。	輸入量の推移 (ﾄﾝ・%)		財務省:通関実績			
	2.小売動向 12月概況	○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の12月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,522.8億円(前年比103.1%、既存店ベース102.0%)と前年上回った。 牛肉や輸入肉の相場高が継続する中、豚肉や鶏肉を中心に好調となった。牛肉は、年末にブランド牛で動きが見られたが、切り落とし等が販売の中心で、ステーキや焼肉関連は不振。 スライスやしゃぶしゃぶ用の国産豚肉は回復傾向がみられたが、鍋関連は水産物へのシフトもあった。鶏肉は、鳥インフルエンザの動向を懸念する声が聞かれた。加工品は高値傾向で不振が継続。 ○ 日本チェーンストア協会が公表した12月販売概況によると、畜産品の売上は1,064.5億円(店舗調整後で前年比103.4%)となり、前年を上回った。 牛肉、豚肉、鶏肉の動きは良かったが、鶏卵、ハム・ソーセージは鈍かった。	暦年	輸入数量	チルド数量			
	1月概況	○ 上旬は、と畜場の年末年始における長期休場の影響から手当てが積極的に行われたことで需給がひつ迫したものの、3連休以降は需要が緩和して推移した。 下旬は、疾病等から全国出荷頭数が伸び悩んだこと等から需給は引き締まった。		ﾄﾝ	前年比	ﾄﾝ	前年比	
			R2年	891,807	93.0	416,334	102.2	
			R3年	903,455	101.3	420,361	101.0	
			R4年	977,158	108.3	403,854	96.3	
			R5年	919,713	94.2	393,416	99.1	
			R6年 9月	78,715	127.4	30,296	113.5	
			R6年 10月	86,780	123.6	34,193	102.0	
			R6年 11月	78,283	104.5	30,446	85.3	
		R6年 12月	76,584	113.0	34,568	112.0		
在庫	3.加工肉 仕向量	○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の12月の豚肉加工品仕向量は29.0千ﾄﾝ(前年比105.0%)と、加工品の値上げによる販売不振は続くが、前年を上回った。 内訳は、国産原料5.8千ﾄﾝ(前年比107.4%)・輸入原料23.2千ﾄﾝ(同104.4%)となった。 なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは9.5千ﾄﾝ(前年比95.1%)と、前年を下回った。	家計消費量 (㍑, 円, %)					
	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(1月29日公表)によると、12月末の推定期末在庫量は208.2千ﾄﾝ(前年比108.7%、前月比96.3%)となり、前年を上回った。 内訳は、輸入品;185.7千ﾄﾝ(前年比109.2%、前月比95.3%)と前年を上回り、国産品;22.5千ﾄﾝ(同105.0%、同105.1%)も前年を上回った。 また、今後の期末在庫は、1月は218.2千ﾄﾝ(同112.5%)、2月は225.5千ﾄﾝ(同120.5%)と前年を上回って推移するものと見られる。	暦年	全国1世帯当り				
				数量	前年比	金額	前年比	
			R2年	22,973	108.5	32,861	110.9	
			R3年	22,559	98.2	31,892	97.1	
			R4年	22,297	98.8	32,487	101.9	
			R5年	22,031	98.8	33,553	103.4	
			R6年 9月	1,740	97.7	2,688	97.6	
			R6年 10月	1,774	95.9	2,850	99.6	
			R6年 11月	1,856	100.4	2,927	102.3	
枝肉相場	1.R7年1月 速報値	○ 1月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;1月31日時点)は、597円/kg(前年比121.3%)と前年を上回った。 1月は、上旬が年末年始の販売が好調だったこと、と畜場の年始休場の影響から一時的に需給がひつ迫し高値で推移したものの、3連休以降は需給が緩和し下落した。 下旬には、疾病等から全国出荷頭数が伸び悩んだことで再び需給が引き締まり、高値推移となったものの、相場は前年を上回ったが前月は下回った。	加工品仕向量 (千ﾄﾝ・%)		市況の推移(東京市場)(円/kg・%)			
	2.予測 R7年2月	○ 2月は、量販店の決算セールや2度の祝日による消費喚起はあるものの、消費者の節約志向や野菜高騰による鍋需要の低迷など需要面は不安定な状況にある。 一方で、疾病等により国内出荷頭数は前年を下回る見込みであることに加え、寒波による生産性低下等から供給面も不安定であり、相場は横ばいから強含みを見込む。 ＜相場予想: 東京市場、税込み＞ 12月実績 1月実績 2月予測 3月予測 【上物】(前年比) 638円/kg (115.6%) 597円/kg (121.3%) 600円/kg (101.0%) 560円/kg (101.8%)	暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」(税込み)	
				千ﾄﾝ	前年比		円/kg	前年比
			R2年	376.7	101.5	R2年	561	106.9
			R3年	379.4	100.6	R3年	546	97.3
			R4年	368.5	97.4	R4年	582	107.0
			R5年	336.4	91.5	R5年	609	104.9
			R6年 9月	29.5	108.8	R6年10月	619	110.5
			R6年 10月	31.2	110.2	R6年11月	571	110.0
			R6年 11月	32.6	105.7	R6年12月	638	115.6
		R6年 12月	29.0	105.0	R7年1月速報値	597	121.3	